助成金審査における団体情報の取り扱いに関するアンケート調査 調査レポート (ダイジェスト版)

一般財団法人非営利組織評価センター(以下「JCNE」)は、助成プログラム実施団体の担当者を対象に、「助成金審査における団体情報の取り扱いに関するアンケート調査」を実施しました。

NPO を対象にした助成プログラムにおいて、審査担当者が申請団体の団体情報をどのように確認し、審査の中でどのように活用しているのかを明らかにし、NPO の支援者(資金提供者)が団体情報をどのように取り扱っているのか、どの点を重視しているのかの実態を調査することを目的として実施いたしました。

助成金の審査では助成事業に関する内容のみならず団体情報も確認しており、特に収支状況や活動実績をチェックしていること、また確認方法としては書類審査が主である一方"ウェブ"も活用されていること等が明らかになりました。

本資料は、調査レポートのダイジェスト版として、助成金申請を行う NPO の参考になる内容をまとめたものです。

助成金審査における団体情報の取り扱いに関するアンケート調査

1. アンケート調査の概要

【実施概要】

・調査期間

2022年6月14日(火)~2022年8月11日(木)

・対象者

JCNE とこれまでに接点のあった助成財団、助成を実施している企業、コミュニティ財団、休眠預金資金分配団体等

・方法

オンライン

【回答数】

·配信数:75 団体

・回答数:29団体 30助成プログラム/回収率:38.7%

【回答内容について】

- ・2021年度に実施したプログラムについてお答えいただきました。
- ・助成プログラムが複数ある場合は、プログラムごとにご回答いただくか、主な助成プログラムを 一つ選んでご回答いただきました。(アンケート内では特定の助成プログラム1つについて回答)

- ・団体内で、運営している助成プログラムについて把握されている方にご回答をお願いしました。
- ・「回答いただく内容は団体としての公式見解ではなく、ご担当者としてのご意見で構いません」と ご案内しました。

【回答データについて】

サンプル数とデータの表記について

本アンケート内において、「n=(数値)」はその質問のサンプル数(回答者数)をあらわします。 なお、本アンケートは回答件数が30サンプルと少ないため、データはパーセンテージではなく「件数」 にて表記しております。

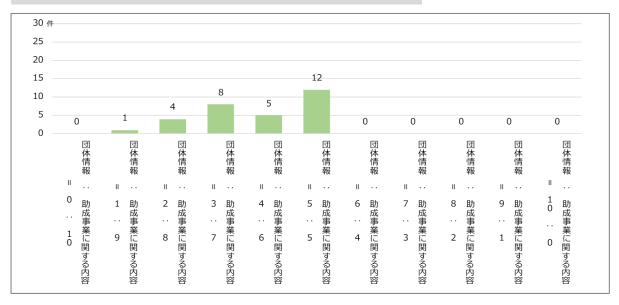
2. 調査レポート(ダイジェスト版)

審査では、助成事業に関する内容だけでなく、団体情報も重視している

審査において「団体情報」と「助成事業に関する内容」それぞれどの程度重視するかの比率を聞いたところ、最も多かったのは「団体情報:助成事業に関する内容 = 5:5」であった(30 件中 12 件)。「団体情報:助成事業に関する内容」の重視比率が「5:5」「4:6」「3:7」である助成プログラムを合計すると 30 件中 25 件にのぼる。

助成事業についてのみならず、団体情報も審査プロセスにおいてバランスよく確認していることがう かがえる。

Q12 団体情報と助成事業に関する内容の重視度(SA) n=30 審査において、「団体情報」と「助成事業に関する内容」を重視する比率として、最も近いものをお選びください。



団体の「収支状況」と「事業に関連する活動実績」は 多くの助成プログラムがチェック

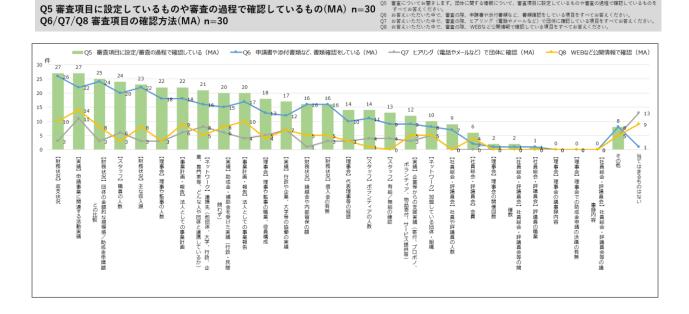
「審査項目に設定しているものや審査の過程で確認しているもの」を複数回答で聞いたところ、最も 多かったのは「収支状況」「事業に関連する活動実績」であった(30件中27件)。その活用方法を聞く と、「事業に関連する活動実績」は「採択可否を決める際に絶対条件として確認」、「収支状況」は「団体 同士を比較し相対評価する際に活用」との回答が多かった。

また、「団体の金額的規模感/助成金申請額との比較」や「主な収入源」など"財務状況"、「職員の人数」「理事や監事の人数」といった"運営体制"、そして「法人としての事業計画」も、審査で確認する項目として上位に挙がった。

			【財務状況】				【理事会】					【社員総会·評議員会】				【ネット ワーク】		【実績】				【スタッフ】			【事業計画 ・報告】			
Q5 審査項目に設定しているものや 審査の過程で確認しているもの(MA) Q9 審査項目の活用方法(MA) 全てn=30 Q5 審査についてお聞きします。団体に関する情報について、審査項目に設定しているものや審査の過程で確認 しているものをすべておきえください。 Q9 それぞれの項目は、審査にどのように活用していますか。		収支状況	な	の比較団体の金額的な規模感く繰越金や内部留保の額	借入金の有無	理事会の開催回数	理事会の議事録内容	理事や監事の人数	理事や監事の職業、役員	代表理事等の経歴	理事会での助成金申請の	社員総会・評議員会等の	社員総会・評議員会等の	社員や評議員の人数	評議員の職業	会費	んな人や団体と連携しているか連携 先(他団体、大学、行政	加盟している団体・組織	申請事業に関連する活動	問わず) 助成金・補助金を受けた	行政や企業、大学等の協	ランティア、物品寄付、サービ企業等からの支援実績へ	職員の人数	ボランティアの人数	有給/無給の確認	法人としての事業計画	法人としての事業報告	その他
				/助成金申請額と					構成		の決議の有無	開催数	の議事録内容				、企業、専門家等、ど		実績	実績(行政・民間	励働の実績	ス提供等)						
Q5 審査項目に設定	E/審査の過程で確認している(MA)	27	2 3	25 16	16	2	0	2 2	18	14	0	2	0	9	1	6	21	10	27	2 0	17	12	24	14	13	2 2	2 0	8
Q9 活用方法	採択可否を決める際に絶対条件として確認	6	5	7 4	3	0	0	3	4	5	0	0	0	1	0	0	8	2	18	4	4	1	5	2	5	8	8	
	団体同士を比較し相対評価する際に活用	14	11	12 8	8	1	0	6	7	6	0	1	0	1	1	3	14	5	7	8	11	8	11	5	3	12	10	
	念のために確認する程度	9	9	7 5	6	1	0	13	8	4	0	1	0	7	0	4	1	4	3	8	3	4	9	7	6	4	3	

ウェブ情報でも審査項目内容や第三者からの評判を確認している

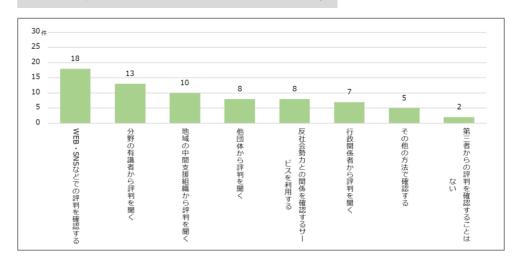
それぞれの審査項目を「申請書や添付書類など書類確認」「ヒアリング(電話やメールなど)」「WEBなど公開情報で確認」の3つのうちどの方法で確認しているかを聞いたところ、全体的には「申請書や添付書類など書類確認」が多かった。ただし「申請事業に関連する活動実績」や「法人としての事業報告」などはWEBで確認しているプログラムも多いことがわかった。



また、申請団体について第三者からの評判を確認することがあるかを聞いたところ、30件中28件のプログラムが確認しており、うち「WEB・SNSなどでの評判を確認」しているプログラムは18件にのぼった。

Q11 第三者の評判(MA) n=30

申請団体について、以下のような方法で第三者からの評判を確認することはありますか。



申請団体は「受益者ニーズの把握・改善」に加え、 「財務」や「事業の PDCA」、「情報発信」や「社会的責任」も特に重視

JCNE が設定している組織評価・認証制度の項目について、助成先団体を選考するにあたりどの程度 重要かを聞いたところ、「とても重要だ」との回答が最も多かったのは「【受益者ニーズ】受益者本位の 視点によるニーズの把握と改善を行っている」であった。

そのほか、「【財務】会計書類を正しく作成し、安定した運営を行っている」「【事業の PDCA】目標達成に向けて協議・振り返りを行い、 PDCAを回している」「【情報発信】社会課題や活動に関する情報発信や、社会に対して情報提供を行っている」「【社会的責任】人権や環境、法令遵守など、法人としての社会的責任に取り組んでいる」でも「とても重要だ」との回答が多かった。

Q13 JCNEの評価基準の重視度(SA) n=30

以下の項目は、JCNEが設定している組織評価・認証制度の内容です。それぞれの項目について、助成先団体を選考するにあたりどの程度重要だと思いますか。



発行:(一財) 非営利組織評価センター

発行日: 2022 年 9 月 15 日

本資料に関するお問合せ:office@jcne.or.jp